

社協だより

はんど

to

はんど

夏号



昨年の「夏！体験ボランティア」食育体験の様子（筑波大附属 坂戸高校）
あなたも参加しませんか？プログラム一覧はホームページにて。

今号の話題

- ② 平成26年度 基本方針
- ③ 事業計画・予算
- ④～⑤ 役員紹介、社協会員募集
- ⑥～⑦ 夏！体験ボランティア
～あの時の体験を今振り返って～
福祉ポスターコンクール募集
- ⑧ 孤立防止フォーラム
はんど to はんど設置場所⑧
- ⑨ 心配ごと相談所日程、寄付報告
- ⑩～⑪ クリップボード
- ⑫ ふれあい・いきいきサロン

No.126

平成26年7月1日
発行

社会福祉法人 坂戸市社会福祉協議会

☎ 049-283-1597

FAX 049-289-3911

HP <http://sakadoshakyou.jp>

※電話・FAX 番号を確認のうえおかけ
間違いのないようご注意ください。

事業計画・予算

1 法人運営事業 7,573千円

理事会、評議員会、各種委員会で審議いただいた結果を社協運営や事業に反映させ、充実を図ります。今年度は坂戸市と調整を図りながら「第2期地域福祉活動計画の策定」に向け取り組みます。

2 広報啓発事業 5,085千円

地区別説明会を開催するほか、広報紙「はんどtoはんど」やホームページを充実させ社協活動への理解と周知を図ります。また、「支え合いのまちづくり協議会」に対し支援・協力を行います

3 地域福祉活動推進事業 8,103千円

車椅子や障害者等移送車の貸出事業を推進するほか、災害ボランティアセンター設置訓練や被災地支援を継続して行い、地域の仲間づくりを目的としたふれあい・いきいきサロンの更なる推進を目指し、支援に努めます。

4 相談・支援事業 2,202千円

心配ごと相談所の開設や、生活が困難な方に対する福祉資金貸付事業、認知症等で判断能力が不十分な方に対する権利擁護のほか、法人後見事業に関する研究を行います。

5 さかどボランティア・市民活動センター事業 2,770千円

各種講座を企画し、ボランティア活動及び地域福祉充実へのきっかけを提供します。また、学校等における福祉教育の推進へ向け助成金制度を設け、小・中・高校生の福祉教育推進を支援します。

6 在宅福祉サービス事業 1,115千円

誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、住民参加型の家事援助サービス「ふれあいサービスセンター」の充実を図ります。

7 公益事業 9,584千円

坂戸市福祉センターの指定管理者として、地域福祉の拠点となる福祉センターの利用促進を図ります。

8 収益事業 40千円

地域福祉事業の財源確保を目的に、飲料水の自動販売機設置を増やします。

地域福祉活動推進 22.2%

広報啓発 13.9%

相談・支援 0.6%

ボランティア 0.7%

在宅福祉サービス 0.3%

公益 26.3%

はんどtoはんど 法人運営 20.6%



ふだんの 暮らしの しあわせを...

坂戸市社会福祉協議会

平成26年度の取組みについてご紹介します。

平成26年度

方針 基本



◆ 全国社会福祉協議会の示す「社協・生活支援活動強化方針」に基づき、事務事業の見直しを図りながら地域福祉の基盤強化に取り組みます。

◆ 福祉を取り巻く環境の変化によって生じてくる多くの問題の解決に向け、行政や民生・児童委員、福祉団体、福祉施設及びボランティア等との連携を図り、地域住民と協働して積極的に地域福祉活動を推進し、地域の福祉力の向上を図ります。

◆ 策定後5年を経過する「坂戸市地域福祉活動計画」を現状の課題に即して、新たに「第2期坂戸市地域福祉活動計画」を策定します。

◆ 引き続き地域住民の意見や生活課題に対する各種事業を行うとともに、新たな課題の検討や問題の解決に努めます。



はんどtoはんど

平成26年度 社協会員加入の お願い

会員 市内に在住・在勤の方、法人及び団体

会費 (1)個人会員
正会員 300円以上
特別会員 1,000円以上
(2)法人会員 5,000円以上
(3)団体会員 5,000円以上

募集期間 平成 26 年 6 月 1 日 以降随時受付

皆さんの会費が 福祉のまちづくりへ

皆様からの会費は、住みよい福祉のまちづくりをすすめていく大きな財源となります。

ぜひ、多くの方が社協会員としてご加入くださるようお願い申し上げます。

なお、毎年6・7月は会員募集の強化月間として各家庭に、地区の福祉委員さん、班長さんがお伺いしますので、よろしく願いいたします。

(地区によっては区費等から一括納入していただいているところもあります。)

振込先 いるま野農協 坂戸支店

普通預金口座 No.2009332
坂戸市社会福祉協議会会長 ^{つねがわ}恒川 ^{まさる}勝

*ご一報いただけましたら、振込用紙をお送りします

会費は

正会員として 300円納めた場合のおおよそ…

広報啓発事業 **112円**



地域福祉活動推進事業 **124円**



相談・支援事業 **9円**



ボランティア活動推進事業 **51円**



在宅福祉サービス事業 **4円**



評議員 (任期 平成27年5月24日まで)

氏名	選出区分
1 栗原 征夫	地区住民代表(三芳野)
2 畠中 重徳	// (東坂戸地自治会)
3 関原 勝	// (勝 呂)
4 芹澤 利英	// (坂 戸)
5 柴田 一男	// (北坂戸)
6 平林 博	// (第一住宅)
7 寶田 常則	// (入 西)
8 清水 一男	// (大 家)
9 岡部 貞夫	// (西坂戸自治会)
10 長野 美智子	民生委員・児童委員協議会
11 左右田 文代	//
12 佐竹 智雄	福祉NPO法人代表 (いきいき市民連絡会)
13 中川 和平	ボランティア団体代表(あいの会)
14 越野 能一	// (パソコンボランティア)
15 大塚 早苗	社会福祉施設代表(あさば保育園)
16 丸山 定子	社会福祉関係団体代表(更生保護女性会)
17 関口 定子	// (赤十字奉仕団)
18 新井 政信	// (遺族会)
19 大竹 博	福祉団体代表(身体障害者福祉会)
20 栗原 直二	// (聴力障害者の会)
21 平野 恒次	// (けやき親睦会)
22 宮本 典子	// (視覚障害者の会)
23 笠松 ひろ子	// (手をつなぐ親の会)
24 丸山 元孝	医師会・歯科医師会
25 三島 康弘	坂戸市自主防災組織連絡協議会
26 森澤 清	教育委員会
27 富澤 昌樹	青年会議所
28 石川 猛	いるま野農協
29 小塚 満	行政職
30 坂本 尊夫	学識経験者

理事 (任期 平成27年6月5日まで)

氏名	選出区分
1 高橋 光行	地区住民代表(三芳野)
2 野口 達雄	// (勝 呂)
3 杉本 好司	// (坂 戸)
4 恒川 勝	// (大 家)
5 町田 早苗	// (入 西)
6 青木 繁	// (市区長会長)
7 佐藤 和恵	民生委員・児童委員協議会
8 末森 克彦	福祉NPO法人代表 (NPO法人ケアびーぐる)
9 須田 正子	ボランティア団体代表 (ボランティアアドバイザー)
10 若狭 衛	福祉施設代表(さかど療護園)
11 綿貫 幹雄	社会福祉関係団体代表(保護司会)
12 中島 常吉	福祉団体代表(老人クラブ連合会)
13 森田 文明	行政職(福祉部長)
14 飯田 康夫	学識経験者

監事 (任期 平成27年6月5日まで)

氏名	選出区分
1 芹沢 喜枝子	民生委員・児童委員協議会
2 河端 幸男	福祉団体代表 (NPO法人ぽてとto地域福祉の会)
3 千代田 直人	経営管理・会計等の知識を有する者

平成26年7月1日 現在



役員紹介

多くのみなさまからのご意見を聞くため、複数の団体から役員を選出していただき、構成されています。

夏！体験ボランティア

あの時の体験を今振り返って

ボランティア活動してみようかな...?と迷っている学生さんはいませんか。

「今しかできない」「今しか感じられない」ことがたくさんあります。

『夏！体験ボランティア』をぜひ やってボランティア！

学生時代に『夏！体験ボランティア』へ参加した3人も、今や社会人。

あの夏の暑い日の体験を振り返り、あの時の自分と、今の自分について語っていただきました。



「ボランティア体験で

将来像が具体的に」

大学で福祉について学び、社会福祉士の資格を取得し、特別養護老人ホームで介護職に就いています。

夏ボラへ参加したきっかけは、

高校1年生の時、担任の先生からの何気ない一言からでした。その時は、「友達と一緒にいったら楽しいかも...」と割と軽い気持ちでの参加でした。

すでに高校生の時から介護の仕事に就きたいと考えてはいたので、ボランティア体験させてい

ただいたおかげで、より具体的なイメージを持つことができたのは良かったと思います。

今でも、当時ボランティアで伺った施設を思い起こすこともあり、自分の仕事や職場と比較することもあるんですよ。



手を借りればいのだと思ってるんです。だから、初めての子育てですが、怖くないんですよ。



「ボランティア活動を共にした友達は財産です。生活を豊かにしてくれます」



福祉教育の現場で働いていました。学生時代にはたくさんの方々のボランティアをしましたが、楽しかった思い出が色々あります。そこで知り合った友達も大勢います。

今日、ここで久しぶりに会えた友達も本当に懐かしくて...嬉しくなっていました。

今は子どもが生まれたばかりですが、いろいろな経験や資格を得た友達と将来の夢を語り合い楽しんでいます。

それと、今日は久しぶりに会った彼女の話聞いて、私もぜひ『子育てサロン』に行ってみようと思



学生時代のボランティア体験が、5年、10年と時を経て、物事の考えや、生き方を豊かにしてくれる糧となってくれていたようです。



「学生の時の体験から地域にある

社会資源をたくさん知りました」

子育て真最中のママになりました。

学生時代には、老人ホームや児童センター、子育てサロンなど様々な所にボランティアに行っていたので、「将来子どもが生まれてから子育てサロンには行くぞう！」学生ながらに思っていました。

でも、実際に私が今住んでいる地域には『子育てサロン』がなかったんです。びっくりしましたが、「なければ自分で作ろう！」と保

健センターの方の協力を得ながら『子育てサロン』を作っていました。今20名近くのママたちが利用しているんですよ。

学生の時から、社協の人や施設職員の方と関係を持っていたので「何か困ったことがあれば相談していいんだ」と既に知っていたことは強みです。

今までボランティアをして手を貸してきたので、これからもし、子育てで行き詰まっても、誰かの

夏休みにポスターを描いて、ボラン君とティアちゃんに会おう！記念品ももらえるよ！！

福祉ポスターコンクール

ポスター大募集！！

テーマ
たすけあい

- お年寄りにやさしくしていますか
- 障害のある人が困っていたら、あなたはどうしますか
- 地域の人にしてもらって嬉しかったことは何ですか(あいさつ・そうだん)

詳しくは坂戸市社協ホームページで！ 締切 9月4日(木)必着

応募資格 市内在住の小学1年生から6年生

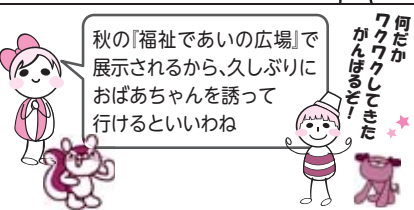
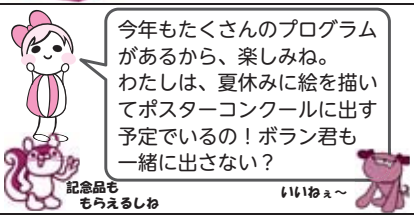
作品の規格 ・B判八つ切り(270×379ミリ)の画用紙を使用、画材は自由。
・応募は一人一作品(未発表のもの)とします。

応募方法 作品の裏へ応募用紙を添付し提出(応募用紙はホームページから入手できます)

応募先 坂戸市社会福祉協議会 坂戸市石井2327-6(坂戸市福祉センター内) ☎049-283-1597

- その他
- (1) 作品が傷む可能性がありますので、なるべく丸めずご応募ください。
 - (2) ご応募いただいた方全員に、記念品をお贈りします。
 - (3) 応募作品の展示及び優良作品の表彰式を、11月開催の「福祉であいの広場」で行う予定です。
 - (4) 社協会長賞の作品は「はんどtoはんど」10月1日号へ掲載します。





出張心配ごと相談所



少し心配なことがあるけれど…誰に相談してよいかわからない方、誰かに話しを聞いてもらいたい方など、お気軽にご相談ください。相談まで少しお待ちいただくこともありますが、予約せず無料で相談できます。

開設場所	開設時間	開設月			
		7月	8月	9月	10月
三芳野公民館	午前9時～12時	1日(火)	5日(火)	2日(火)	7日(火)
坂戸市福祉センター	午前9時～12時	9日(水)	13日(水)	10日(水)	8日(水)
北坂戸出張所	午前9時～12時	17日(木)	21日(木)	18日(木)	16日(木)
入西地域交流センター	午前9時～12時	25日(金)	22日(金)	26日(金)	24日(金)
大家公民館	午前9時～12時	14日(月)	11日(月)	8日(月)	14日(月)
西坂戸自治会館	午前9時～12時	16日(水)	20日(水)	17日(水)	15日(水)

皆さんからの善意

平成26年3月11日から平成26年6月18日まで (順不同・敬称略)

合計 1,126,718円

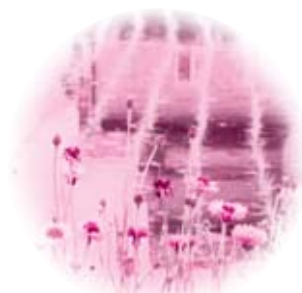
【現金の部】

- ・福島県人会 10,000円
- ・第二稲荷前排水組合 350,391円
- ・さかど障害者とボランティアの会あしたば ... 5,079円
- ・坂戸双葉山草会 5,354円
- ・東坂戸桜祭り実行委員会 12,105円
- ・住吉中学校第4期同窓会 5,000円
- ・川越露商組合 50,000円
- ・坂戸キリスト教会 100,000円
- ・坂戸市立若宮中学校
昭和45年3月卒業生「還暦を祝う会」... 15,303円

- ・埼玉土建坂戸西分会 15,303円
- ・伊豆の山西町内会 5,000円
- ・NEXUS(株) D'ステーション 500,000円
- ・匿名 3件 53,183円

【物品の部】

- ・匿名 (2件) 紙おむつ・尿取りパッド5袋
長寿祝着 1着



孤立防止フォーラム in 坂戸

誰もが助け合いながら住み慣れた地域で暮らしていくことができるように、近隣地域で取り組まれている多様な福祉活動を紹介し、自分たちの地域を住みよい地域へするために、ぜひご参加ください。

- 日 ち 8月27日(水) 午後1時30分～午後4時
- 場 所 坂戸市文化施設「オルモ」
- 定 員 150人
- 内 容 **基調講演** 講師 立教大学 コミュニティ福祉学部
福祉学科助教 岡田 哲郎氏
実践報告 ①坂戸市 ②嵐山町 ③鳩山町の取り組み発表
- 申し込み 直接、坂戸市社会福祉協議会 ☎283-1597へ7月15日(火)までにお申し込みください。

はんどtoはんどが あなたの街の身近な場所に！

はんどtoはんど 設置場所 ⑧

⑧ 坂戸赤レンガ接骨院

坂戸市薬師町16-7



年4回発行の本紙「はんどtoはんど」を院内へ設置いただけることになりました。

皆さんにお知らせしたい情報を発信していますので、待ち時間等に、ぜひ手にとってご覧ください。



市内の企業や施設等で「はんどtoはんど」を設置頂ける場所を募集しています。詳しくは、坂戸市社会福祉協議会まで 坂戸市社会福祉協議会 ☎ 283-1597

広告

住宅改修は、自己負担1割で出来ます 介護保険を利用して手すりを付けませんか？

階段・廊下・トイレ・浴室の手すり等、丁寧にお応えします
見積り無料 お気軽にお問い合わせください!!



(有)グローバルハウス 〒350-0243 埼玉県坂戸市萱方219
☎ 049-285-6388 ☎ 049-271-0625
二級建築士・インテリアコーディネーター/福祉住環境コーディネーター2級

●●● 広告募集 ●●●

ご覧の「はんどtoはんど」へ掲載する広告を募集しています。

- ◆掲載方法 年4回発行「はんどtoはんど」へ掲載
- ◆掲載規格 縦50mm×横90mm
- ◆掲載料金 1号につき 1区画 15,000円
- *その他詳細は坂戸市社会福祉協議会 ☎ 283-1597 まで

クリップボード CLIP BOARD

ボランティアに関する相談は・・・
さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597
FAX 289-3911

ボランティア募集

1 「広げよう小さな輪 2014 in 坂戸」ボランティア募集

原発事故の影響で不安な生活をおくる郡山市の子どもたちに、思いきり遊べる場と友情の輪が広がる機会を提供します。

日時 8月2日(土)～8月6日(水)
8:30～16:30 (一部のみ協力可)
場所 坂戸市内・小川げんきプラザ
定員・対象 30名・高校生以上(事前説明会に参加できる方)
事前説明会 7月20日(日) 13:30～
入西地域交流センター(新堀159-1)
参加費 無料(実費自己負担)
問合せ・申込 郡山の子もたちと遊ぶ会
松本 ☎090-4933-6041

学ぶ

2 ライブ音声ガイド入門講座

テレビの副音声のように、映画に音声解説をつけるのがライブ音声ガイドです。あなたの可能性を音声ガイドボランティアとして活かしませんか？

日時 7月15日(火)・21日(月)・22日(火)・29日(火)・8月5日(火)〈全5回〉
13:00～16:00
場所 わかばコミュニティルーム(若葉駅併設)
定員 15名
参加費 一般2000円 学生1000円
申込メ切 7月13日(日)(先着順)
申込先 声なびシネマわかば
木野 ☎080-1042-4719

3 視覚障害者のためのパソコン体験講座

視覚障害者と家族・サポーターのためのパソコン体験講座です。音声読み上げソフトを用いて、パソコンの基本操作とワープロ、メールとホームページを体験します。パソコンが全く初めての方も、楽しみながら体験できます。

日時 7月19日(土)・20日(日)
10:00～16:00
場所 すまいるはうす(鶴ヶ島市脚折町1-1-1)
定員・対象 10名・小学生以上
参加費 無料
申込先 坂戸パソコンボランティア
石田 ☎254-3270

4 点字講習会

パソコンを使って点訳をしてみませんか。パソコン初心者でも大丈夫です。点字に興味・関心のある方の参加をお待ちしています。

日時 9月13日(土)～11月8日(土)
10/25 以外の毎週土曜日〈全8回〉
10:00～12:00
場所 坂戸中央公民館(千代田1-2-3)
定員 10名(先着順)
参加費 無料(テキスト代600円)
申込先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

5 拡大教科書制作体験講座

教科書の文字や図表が見えにくい弱視生徒のために、拡大した文字や図表の拡大教科書を制作する体験講座です。

日時 10月10日(金)・17日(金)・24日(金)
〈全3回〉10:00～12:00
場所 坂戸コミュニティセンター
(石井2327-5)
定員 10名
(パソコン制作・手書き制作)
条件 パソコン制作希望の方は、パソコンの基本操作のできる方
参加費 500円(保険代・資料代)
申込先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

6 坂戸市福祉教育・ボランティア学習研修会

「ふだんの 暮らしの しあわせ」を地域のみんなで考えてみませんか。

日時 8月6日(水) 13:00～16:00
場所 入西地域交流センター(新堀159-1)
内容 〈講演〉講師：友光 隆子氏
〈体験学習〉・〈グループワーク〉
定員 50名(参加費無料)
申込メ切 7月25日(金)
申込先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

7 発達が気になる子どもの子育て講演会

講師に星槎大学の阿部利彦先生を迎え《育てづらい子ども》《発達が気になる子ども》の子育てのポイントやサポート法を教えてください。

日時 8月9日(土) 10:00～12:30
場所 鶴ヶ島市富士見公民館(鶴ヶ島市富士見5-11)
定員 80名
参加費 100円
申込先 こっこの会 高橋 ☎282-1724

ボラ・市民活動センターからのお知らせ

8 災害ボランティアに登録しませんか

さかどボランティア・市民活動センターでは、災害時に活動するボランティアの登録を行っています。登録していただいた方へは、災害が発生した際に情報を提供します。また、平時においても防災訓練等、災害に備えた取り組みを行う際に情報を発信します。
*登録された場合でも、活動を強要するものではありません。

登録条件 ①市内在住、在勤、在学の18歳以上の方(高校生は除く) ②心身ともに健康で体力に自信のある方 ③現地の状況や指示に添った団体行動ができる方

受付期間 随時
問合せ先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

9 ボランティアサロン

毎月、第4木曜日はボランティアの日とし、ボランティア活動に関する相談を行っています。情報交換や仲間作りの場としてもご利用ください。

場所 ボランティアビューロー(コミュニティセンター内)
時間 10:00～15:00
問合せ先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

開催日	内容
7月24日(木) 10:00～12:00	点字ってどんなもの? ～見て・さわって・書いてみませんか?～
8月28日(木) 10:00～12:00	よりあい流・健康吹き矢体験
9月25日(木) 10:00～12:00	カナリア会員による「ミニ朗読会」 ～朗読を聞きながら心安らぐひとときを過ごしてみませんか～

10 出張ボランティアサロン

市内の2か所で出張ボランティアサロンを開催しています。楽しくおしゃべりしながら、情報交換や仲間作りをしませんか?(出入り自由・無料)

時間 10:00～11:30
問合せ先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

◆出張ボランティアサロン『こすもす』

開催日 7月9日(水)・9月10日(水)(8月はお休み)
場所 NPO法人こすもす 喫茶店(東坂戸2-9-105)

◆出張ボランティアサロン『北坂戸』

開催日 7月16日(水)・8月20日(水)・9月17日(水)
場所 北坂戸出張所(溝端町1-5)

夏!

体験ボランティア

今年の『夏!体験ボランティア』プログラム一覧は、本会窓口、市内各公民館等に設置しています。また、本会ホームページでもご覧いただけます。

「夏!体験ボランティア」は、参加申込後に事前説明会(①、②どちらか)への出席が必要です。

事前説明会

①7月21日(月) 午前10時～ 坂戸市福祉センター
②7月23日(水) 午後6時30分～ 文化施設オルモ

私の地域の

ふれあい・いきいきサロン

このコーナーでは、市内で取り組んでいる
サロン活動をご紹介します。

—— 市内にたくさんさんのサロンの花が

咲くことを期待して…… ——



石井新町交流会
(坂戸市石井)

雨が降りそうな空模様の中、石井新町交流会に伺うと快晴になるような明るい笑顔で迎えていただきました。二つの大きな丸いテーブルをそれぞれ囲みながら「お久しぶりね」などお互いを気遣いながら談笑をする温かい雰囲気が伝わってきました。また、今回は社会福祉協議会のマスコットキャラクターのポランくんティアちゃんのデビュー日で、交流会のみなさまにも大人気。「かわいい」とたくさん写真を撮ったり、交代で抱っこしていただきました。

その後、川島町の平成の森公園にバラを見に出かけましたが、移動する際に、参加者も積極的に「お弁当持っていけますね」と声をかけあって荷物を運ぶなど、協力する姿が印象的でした。スタッフと参加者を超えた交流のあるサロンの様子を感じることができました。

聞かせて！

うちのサロン自慢

このサロンの参加者は、積極的な方が多いのが特徴です。参加者からの要望での企画などもあります。また、サロンの終わりにお掃除や片付けを自然と皆さんでも動いてくださってとても助かっています。今日も出かける際に、参加者の方に集会所の雨戸を閉めていただきました。サロンは、誰が主役というわけではなく、参加者のみなさんが主役だという思いで開催しています。

石井新町交流サロンのこれから

月に1度の開催ですが、今後もみなさんでお話をする機会となって気分転換になれば良いと考えています。様々な情報を提供していくことで、

皆さんに今後の目標をもっていただけたらうれしいです。そのために、スタッフも日々市の広報や様々な掲示より情報を得ていきたいと思っています。



◇市内65歳以上の高齢者 25,073人 男 11,744人 女 13,329人 高齢化率 24.8% (6月1日現在)



再生紙と環境にやさしい植物インキを使用しています。